

外来受診および入院に関する相談について (医療機関専用窓口)

病院・診療所からの外来受診および入院に関する相談の専用窓口を、トータルサポートセンターの看護師が担当いたします。

ご相談につきましては、下記へご連絡いただきますようお願いいたします。

電話番号

☎ **042-778-8971 (直通)**

対応時間

月～金 8時30分～17時 ※左記以外の日時は病院の代表番号へ
 土(第1・3・5) 8時30分～12時 ご連絡ください。
 ☎042-778-8111 (代表)

〈お願い〉

- ・外来受診および入院に関する相談の際は、診療科をご指定いただきますようお願いいたします。
- ・複数診療科の調整を要する場合等は、返答までに時間をいただくことがございますので、ご理解の程お願いいたします。
- ・当院にて診断や治療方針が確定し、医学的にも他院での診療が可能と考えられる患者様につきましては、ご紹介いただいた医療機関、あるいは近隣の病院、診療所等で治療、療養の継続をお願いしております。

お知らせ

開院記念日による休診について

平成29年7月29日(第5土曜日)は、開院記念日により休診となりますので、お知らせいたします。
 皆様にはご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

No.
110

北里大学病院ニュースレター
「窓」

Mado



診療科紹介 眼科

日本人の
中途失明原因第1位

緑内障について

診療科紹介

眼科

日本人の中途失明原因第1位

緑内障について

北里大学病院
眼科 科長・主任教授

庄司 信行

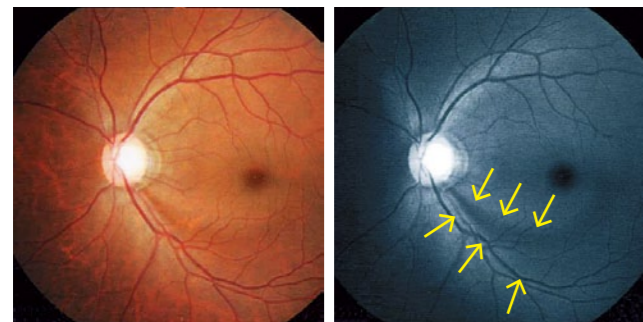
緑内障とは

緑内障は、視神経が萎縮を起こし、それに対応して視野の異常（見えない部分や視野が欠ける部分があるなど）が出てくる病気です。

40歳以上の約5%の人が発症しますが、原因はハッキリとはわかっていません。一度欠けた視野は戻らず、病気の進行とともに徐々に見えない部分が多くなり、最終的には失明に至ります。

眼球の中には水が流れていて眼の中に貯まる量によって内圧（＝眼圧）が決まります。眼圧の正常値は10～21mmHg。昔は眼圧が高いと神経が圧迫されて視野が欠けるとされ、緑内障は眼圧の高い人になる病気と言われていましたが、現在では緑内障患者の7割が正常眼圧であることがわかってきました。

ですから一概に眼圧が低いから緑内障の心配はないということはないのです。



緑内障の眼底写真(左目)
黄色の矢印ではさまれた少し暗い部分は、緑内障の進行のため神経線維が薄くなっている

緑内障の種類

原発開放隅角緑内障

緑内障全体の8割を占める慢性緑内障。ほとんどが正常眼圧緑内障で、何らかの原因で視神経が非常



に弱いため緑内障性の視神経障害と視野異常が起こるとされる。

原発閉塞隅角緑内障

数は少ないが、もともと眼球の中の水の出口（隅角）が狭い人がいて、突然その出口が閉じ急激に眼圧が上がってしまうために起き、1晩2晩で失明に至ってしまう急性緑内障。女性に多い。

続発緑内障

ぶどう膜炎や糖尿病、サルコイドーシスなどの他の病気のため、眼圧が上がってしまい緑内障になるもの。

緑内障の治療

一度欠けた視野を戻すことはできないので、進行を止める、遅くするための治療を行います。原発開放隅角緑内障の場合、基本的には、たとえ眼圧が正常値であってもその人にとって眼圧が高いという考えで、眼圧を下げる処置をします。点眼薬、レーザー治療、手術の方法がありますがそれらを組み合わせ、現状よりも3割くらい低い眼圧を目指してい

ます。点眼薬だけで効果がでる患者さまもいますし、進行してしまった場合、手術で眼圧を下げたりと、患者さまに合わせて治療していきます。

原発閉塞隅角緑内障では、レーザー治療や手術で水の流れを良くする治療を、続発緑内障では、まず原因疾患の治療をしてきます。

当科では大学病院の役割として、近隣のクリニックでは対応できない患者さまの手術を多く手がけています。昨年は、300件超の手術を行いました。神奈川県では手術件数で1位になりました。それでも対応しきれない患者さまがたくさんいますので、もう少し増やしていきたいと思っています。

緑内障を見つけるには

緑内障の怖いところは、かなり進行するまで自覚症状がないことです。視野が欠けると言っても通常は両目でものを見るので、欠けた部分を補ってしまい気づかないことがほとんどです。また、見え方が変だと感じても、メガネが合わなくなったと思えばメガネ屋さんに行く方が多いのですが、緑内障が進行しても中心の視力は残りますので、頑張って見ようとすれば見えてしまう。結果、疲れ目などと思っ

てしまい、ますます緑内障が進行してしまうのです。40歳以上で、少しでも見え方が変だと感じたら、お近くの眼科を受診するのがいいでしょう。大学病院など大きな病院でなくても緑内障の検査は受けられます。加えてご家族、血縁の方に緑内障の方がいる場合は、緑内障になる可能性が高くなるので、若いうちから定期的に検査をすることをおすすめします。早い段階で見つければ、適切な治療で進行を食い止めることも可能です。

緑内障の視野イメージ(右目の場合)



初期	中期	末期
目の中心からすこし外れたところの視野が欠けてきます。自分で異常に気付くことはありません	視野が欠けた部分が拡大していきます。この段階でも多くの方が異常に気付きません	中心の視野は残りませんが、見えるところが少なくなり日常生活に支障が出てきます

日常生活では両目で見ていたり、目を動かしたりするために異常に気付きにくい

緑内障は、進行してしまい失明を防ぐためにも、早期発見、早期治療が重要です。繰り返しになりますが、片目ずつ見て、両目で見え方が違う、変だなど感じたら眼科を受診してください。その際には、「見え方がおかしい」「緑内障が気になる」など、伝えていただいた方がスムーズに検査をしてもらえます。

近隣の医療機関の先生方へ

緑内障の疑いがある患者さま、また、進行が止まらない患者さまなどは、お早めにご紹介いただければと思います。その際には、貴院で治療を開始した際の状態も知っておきたいので、治療前の検査結果や、先生が診察された状態などを含めてお知らせください。よろしくお願いいたします。

当科受診の際には、患者さまに紹介状をお持ちいただくようお願いいたします。

Profile / 庄司 信行

●1988年 新潟大学医学部 卒業、東京大学医学部附属病院眼科 入局。1999年 北里大学医学部 講師、2000年 北里大学医療衛生学部 助教授を経て、2002年 北里大学医療衛生学部 教授（視覚機能療法学）および北里大学大学院医療系研究科 教授（視覚情報科学および眼科学）。2016年10月より北里大学医学部および北里大学大学院医療系研究科 教授（眼科学）。

●日本眼科学会（評議員）、日本緑内障学会（評議員、理事）、日本視野学会（評議員）、日本眼科医会、アメリカ眼科アカデミー、アメリカ白内障屈折手術学会 他